

## 血圧計の世界累計販売台数が3億台を突破

～「脳・心血管疾患の発症ゼロ」実現を目指して～

オムロンヘルスケア株式会社（本社：京都府向日市、代表取締役社長：荻野 勲、以下、当社）は、血圧計の世界累計販売台数3億台\*1を突破いたしました。1973年に血圧計の1号機を発売して以来、現在では、世界110以上の国々で当社の血圧計が使われています。

血圧計の発売開始から、2009年に累計販売台数1億台を突破するまでは36年を要しました。また、この10年では人々の健康意識の高まりや、世界的な生活習慣病患者の増加、家庭血圧の高血圧治療ガイドライン化により家庭での血圧測定が浸透し、2009年の1億台達成から7年後で2016年に2億台を達成しました。その後も、血圧計市場はグローバルでさらに拡大を続け、欧州や米国、中国、だけでなく、インドやブラジルなどの新興国でも需要が高まり続けています。その結果、2億台達成からわずか5年後の今年、2021年に3億台を突破しました。

世界の高血圧患者は約10億人\*2、高血圧などが原因で引き起こされる脳・心血管疾患の発症者数は1,750万人\*3いるといわれています。脳・心血管疾患を発症すると死亡するケースも多いほか、生命はとりとめても寝たきりや言語障害などの後遺症が残り、患者自身だけでなく家族の精神的、肉体的ストレスの高まりや、QOL（Quality of Life＝生活の質）の著しい低下につながります。

当社は、「地球上の一人ひとりの健康ですこやかな生活への貢献」をミッションとし、2015年からは「脳・心血管疾患の発症ゼロ（ゼロイベント）の実現」を循環器事業のビジョンに掲げ、家庭用血圧計を中心とした事業展開を進めてきました。今後は、3億台突破を新たなスタートと捉え、グローバルで高まり続ける血圧計需要や顧客ニーズの変化を、よりの確に捉え、迅速に対応していきます。さらに、健康管理スマートフォンアプリや遠隔診療サービスなどのサービス事業を加速させることで、家庭での健康管理や医療現場を継続的に支援し、一人でも多くの方の健康ですこやかな生活に貢献していきます。

\*1:家庭用電子血圧計の世界累計販売数（2021年5月時点）

\*2:World Health Day 2013: measure your blood pressure, reduce your risk (WHO:世界保健機関)

\*3:WHO報告より

## ■当社の血圧事業の歩み

血圧は診察室で測ることが当たり前だった 1970 年代に血圧計 1 号機を発売。以来、誰でも、家庭で簡単・正確に測れる血圧計を追求し、独自の生体情報センシング技術を進化させ、測定精度とユーザビリティの向上を進めてきました。近年では、腕時計型のウェアラブル血圧計や、心電計付き上腕式血圧計など新たなデバイスを提供しています。今後は、新しい医療インフラとして期待される遠隔診療サービスのグローバル展開、脳・心血管疾患の発症を未然に防ぐ AI（人工知能）開発などに挑戦していきます。

## ■3 億台突破記念 グローバルウェブサイトの概要

3 億台突破を記念して、「脳・心血管疾患の発症ゼロ」を目指して、これまで取り組んできた内容と、これから新たに取り組む事業に関してまとめたグローバルウェブサイトを開設します。

<主な内容>

- ・これまでの取り組み（家庭用血圧計の歴史、測定精度の追求、デザインの追求）
- ・これからの挑戦（遠隔診療サービスのグローバル展開、リスク予測 AI の開発、血圧管理の進化、心疾患領域への参入）
- ・血圧に関する学術研究の紹介



サイト URL

（日本語）：<https://www.healthcare.omron.co.jp/million/>

（英語）：<https://healthcare.omron.com/public/going-for-zero/300-million/>